年間授業計画　様式例

高等学校 令和８年度（１学年用）　教科 芸術　科目 美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（ 坂内 萌々子 ）

使用教科書：（ 光村図書「美術１」 38 光村 美Ⅰ 038－901 ）

教科　芸術　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	**『作品模写』** 【知識及び技能】 ・作品を丁寧に鑑賞し、構成や造形の良さや表現の工夫を感じ取りながら描き写す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な作品を鑑賞して多様な表現に触れ、作者の心情や意図・表現の工夫について考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者の考えに関心を持ち、感じたことや考えたことを話し合い、共有する。	指導項目、内容 ・教科書の掲載作品を鑑賞し、模写をする 教材、画材 ・教科書、ワークシート ・鉛筆、色鉛筆				○	【知識及び技能】 ・作品を丁寧に鑑賞し、構成や造形の良さや表現の工夫を感じ取りながら描き写している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な作品を鑑賞して多様な表現に触れ、作者の心情や意図・表現の工夫について考え、見方や感じ方を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者の考えに関心を持ち、感じたことや考えたことを話し合い、共有している。	○	○	○	2
	『色彩の基礎』 【知識及び技能】 ・色の仕組みや分類について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・効果的な配色について考え、創意工夫しながらカラーコントロールをする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・色の基礎事項について意欲的に学び、創造活動に主体的に取り組む。	指導項目、内容 ・三原色、三属性、トーン ・色鉛筆や色紙を用いた色彩演習 教材、画材 ・教科書、ワークシート ・色鉛筆、トーナルカラー		○		○	【知識及び技能】 ・色の仕組みや分類について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・効果的な配色について考え、創意工夫しながらカラーコントロールができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・色の基礎事項について意欲的に学び、創造活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	『鉛筆デッサン』 【知識及び技能】 ・道具の基本的な使い方を理解し、立体物の明暗表現を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・モチーフをよく観察し、感じ取った特徴から形体や陰影、質感について考え、創造的な表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・デッサンの基本について意欲的に学び、創造活動に主体的に取り組む。	指導項目、内容 ・鉛筆の種類、削り方 ・幾何形体の陰影 ・卓上にモチーフを配置して、明暗や質感、固有色の表現を工夫しながら鉛筆デッサンをする 教材、画材 ・教科書、ワークシート ・鉛筆、練りゴム、M画ボード、カッターナイフ	○			○	【知識及び技能】 道具の基本的な使い方を理解し、立体物の明暗表現を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフをよく観察し、感じ取った特徴から形体や陰影、質感について考え、創造的な表現をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・デッサンの基礎事項について意欲的に学び、創造活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	18
2学期	**『身近なものを描く（静物着彩）』** 【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かしながら主題に合った方法を追求し創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・モチーフに対するイメージや形や色彩、陰影、質感などをとらえ、効果的な構図について検討し創造的な表現の構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にモチーフを見つめ、感じ取った特徴を元に創造活動に取り組む。	指導項目、内容 ・構図法 ・描画技法 ・耐水性アルキド絵具による静物画の制作 教材、画材 ・教科書、ワークシート ・鉛筆、絵具セット、キャンバスボード	○			○	【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かしながら主題に合った方法を追求し創造的に表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・モチーフに対するイメージや形や色彩、陰影、質感などをとらえ、効果的な構図について検討し創造的な表現の構想を練ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にモチーフを見つめ、感じ取った特徴をもとに創造活動に取り組んでいる。	○	○	○	18
	『平面デザインの基礎』 【知識及び技能】 ・形や色彩などが感情にもたらす効果や、配色や構成などの造形的な特徴をもとに、伝達のデザインを全体のイメージで捉えることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・使用する目的や使う人の立場に立ちながら、文字や図の配置・配色についてよく考え、機能と美の調和がとれた表現の構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な視覚伝達デザインを鑑賞・比較し、効果的に情報を伝える表現の創造活動に主体的に取り組む。	指導項目、内容 ・ロゴタイプやシンボルマークの歴史 ・デジタルデザインの基礎技法 ・Adobe Expressによるロゴデザインの制作（一人一台端末の活用） 教材、画材 ・教科書、ワークシート ・タブレット端末		○		○	【知識及び技能】 ・形や色彩などが感情にもたらす効果や、配色や構成などの造形的な特徴をもとに、伝達のデザインを全体のイメージで捉えることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・使用する目的や使う人の立場に立ちながら、文字や図の配置・配色についてよく考え、機能と美の調和のとれた創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な視覚伝達デザインを鑑賞・比較し、効果的に情報を伝える表現の創造活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
3学期	**『塑造』** 【知識及び技能】 ・量感や質感、動勢などの造形的な特徴を感じ取り、意図に応じて材料や用具の特性を生かしながら、創造的な立体表現をする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・形や色彩、質感の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にモチーフを見つめ、感じ取った特徴をもとに創造活動に取り組む。	指導項目、内容 ・彫刻の基礎技法 ・石粉粘土による立体作品の制作 教材、画材 ・教科書、ワークシート ・石粉粘土、へら、絵具セット	○			○	【知識及び技能】 ・量感や質感、動勢などの造形的な特徴を感じ取り、意図に応じて材料や用具の特性を生かしながら、創造的な立体表現ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・形や色彩、質感の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にモチーフを見つめ、感じ取った特徴をもとに創造活動に取り組んでいる。	○	○	○	12
	『美術史』 【知識及び技能】 ・美術史の流れをつかみ、各作家の作風や作品の意図を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・画家の生涯と作品に関心をもち、美術の歴史から多様な考え方を感じ取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・調べて分かったことや考えたことを共有し合い、他者の考えに関心をもち、作家や作品の見方や感じ方を深める。	指導項目、内容 ・美術史（紀元前～19世紀末にかけて） ・探究学習（一人一台端末の活用） ・対話型鑑賞 教材、画材 ・教科書、ワークシート ・タブレット端末				○	【知識及び技能】 ・美術史の流れをつかみ、各作家の作風や作品の意図を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・画家の生涯と作品に関心をもち、美術の歴史から多様な考え方を感じ取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・調べて分かったことや考えたことを共有し合い、他者の考えに関心をもち、作家や作品の見方や感じ方を深めている。	○	○	○	4 合計 70